

NPOと政治

世界のごともネット代表理事

吉田 理江

(国際交流基金日米センターNPOフェロー)

米国のNPOは、政治との関わりがとても上手です。日本と同様、NPOが、特定の政党や議員、候補者への献金や支援を行うことは禁止されていますが、ロビー活動は盛んです。ロビー活動とは、政党や議員、行政などに要請を行うことです。米国では、ロビー活動を活動の柱とする団体と、そうでない団体では、法人格の種類が異なります。

米国のNPOが、政策形成をする過程は、みごとです。私の所属したNPOのパートナー機関に、全米の州知事が会員となつてつくっているNPOがあります。政策論議をする会議が、年に一度、州知事のもちまわりで開催されます。私が参加したコンファレンスは、市民社会にむけてのパートナーシップというテーマのもと、各領域の政策に関して、徹底的に政策アナリストと共に議論するものでした。民主主義が成熟するところとした光

景が見られるのだろうか・・・と思うほど、集まった政治家は超党派であり、政策形成者も多様なセクターからきていました。まさに「多様性が豊かさを生む」ということを、政策形成という次元で証明しているその過程は、WHAT(何を)ではなく、WHO(誰が)に力点がおかれた政策形成傾向がある日本と比べ、とてもうらやましいものでした。

さて、日本のNPOの政治的な戦略は、一言でいえば、「ニュートラル(中立)」であることです。全方位戦略でなければいけません。世の中を動かすには、権力・財力・知力が必要で、権力と財力は、今しばらく、日本のNPOには手に入らない兆候はないので、日本の市民社会への移行を真実なるものとするためにも、ともに知力を高める努力をして参りましょう。

事務局
日誌

石川 雅子



5月12日(土)、2001年度定時総会が開催されました。ご出席頂いた皆様、お忙しいところありがとうございます。

その際の資料(議事録など)が、6月初めにやっとやっと発送でき、改めて2001年度がはじまったんだなあと感じました。

あっ、大変遅くなりまして申し訳ありませんでした・・・。

昨年度同様、今年度も様々な事業を計画していますが、常に、「ミッション」NPOをはじめる人と応援する人を増やすこと、「寄付の文化をつくること」に

かえりながら、事業を進めていきたいと思えます。

その事業が本当にミッションに合っているのか、ということをや役員全員が認識した上で、会員の皆様に説明していくことが、責務だと思っていますので、どうぞ厳しい目でチェックしていただきたいと思えます。

さてさて、堅い話しはこれくらいにして、夏ですねー。私は暑いのは苦手です。なーんにもする気がなくなっちゃうんです。でも！今年は事務所にエアコンが2台入りましたので、多分爽やかに仕事ができるかなあとちょっと安心です・・・。